

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2002-182896(P2002-182896A)

【公開日】平成14年6月28日(2002.6.28)

【出願番号】特願2000-378019(P2000-378019)

【国際特許分類】

G 0 6 F	3/16	(2006.01)
G 1 0 L	15/00	(2006.01)
G 1 0 L	15/28	(2006.01)

【F I】

G 0 6 F	3/16	3 4 0 A
G 1 0 L	3/00	5 5 1 A
G 1 0 L	3/00	5 7 1 A
G 1 0 L	3/00	5 7 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月10日(2007.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】音声認識装置、音声認識方法ならびに記憶媒体

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音声を入力する1つ以上の音声入力手段と、

前記音声入力手段により入力された音声を認識する第1の音声認識手段と、

前記音声入力手段により入力された音声を、前記第1の音声認識手段と他の音声認識装置が有する第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替える切替手段と、

前記切替手段にて、前記第2の音声認識手段で音声認識することを選択した場合に、前記音声入力手段にて入力された音声データを該他の音声認識装置へ送信する送信手段と、

前記他の音声認識装置で音声認識された認識結果を受信する受信手段と
を備えることを特徴とする音声認識装置。

【請求項2】

前記切替手段は、グラフィカル・ユーザ・インターフェースを提供するGUI入出力手段からの指示入力を受け付ける切替指示受付手段を更に備え、該切替指示受付手段が受け付けた指示入力に従って、前記第1の音声認識手段と前記第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替えることを特徴とする請求項1に記載の音声認識装置。

【請求項3】

前記切替手段は、前記音声入力手段により入力された特定の音声を指示入力として受け付ける音声指示受付手段を更に備え、該音声指示受付手段が受け付けた指示入力に従って、前記第1の音声認識手段と前記第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替えることを特徴とする請求項1に記載の音声認識装置。

【請求項4】

前記切替手段は、1つ以上の前記音声入力手段のうち、特定の音声入力手段からの音声入力の有無を指示入力として受け付ける音声入力特定手段を更に備え、該音声入力特定手段が受け付けた指示入力に従って、前記第1の音声認識手段と前記第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替えることを特徴とする請求項1に記載の音声認識装置。

【請求項5】

音声を入力する1つ以上の音声入力手段及び該音声入力手段により入力された音声を認識する第1の音声認識手段とを備える音声認識装置で実行される音声認識方法であって、

前記音声入力手段により入力された音声を、前記第1の音声認識手段と他の音声認識装置が有する第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替える切替工程と、

前記切替工程にて、前記第2の音声認識手段で音声認識することを選択した場合に、前記音声入力手段にて入力された音声データを該他の音声認識装置へ送信する送信工程と、

前記他の音声認識装置で音声認識された認識結果を受信する受信工程とを備えることを特徴とする音声認識方法。

【請求項6】

前記切替工程は、グラフィカル・ユーザ・インターフェースを提供するG U I入出力手段からの指示入力を受け付ける切替指示受付工程を更に備え、該切替指示受付工程が受け付けた指示入力に従って、前記第1音声認識手段と前記第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替えることを特徴とする請求項5に記載の音声認識方法。

【請求項7】

前記切替工程は、前記音声入力手段から入力された特定の音声を指示入力として受け付ける音声指示受付工程を更に備え、該音声指示受付工程が受け付けた指示入力に従って、前記第1の音声認識手段と前記第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替えることを特徴とする請求項5に記載の音声認識方法。

【請求項8】

前記切替工程は、1つ以上の前記音声入力手段を用いて音声を入力し、特定の音声入力手段からの音声入力の有無を指示入力として受け付ける音声入力特定工程を更に備え、該音声入力特定工程が受け付けた指示入力に従って、前記第1の音声認識手段と前記第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替えることを特徴とする請求項5に記載の音声認識方法。

【請求項9】

請求項5乃至8のいずれか1項に記載の音声認識方法を音声認識装置に実行させるための制御プログラムを格納したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】**【課題を解決するための手段】**

上記の課題を解決するために本発明の音声認識装置は以下のよう構成を備える。すなわち、

音声を入力する1つ以上の音声入力手段と、前記音声入力手段により入力された音声を認識する第1の音声認識手段と、前記音声入力手段により入力された音声を、前記第1の音声認識手段と他の音声認識装置が有する第2の音声認識手段のいずれで音声認識するかを切り替える切替手段と、前記切替手段にて、前記第2の音声認識手段で音声認識することを選択した場合に、前記音声入力手段にて入力された音声データを該他の音声認識装置へ送信する送信手段と、前記他の音声認識装置で音声認識された認識結果を受信する受信手段とを備える。